

# 県民たすけあい基金助成事業紹介

## ぶれジョブ新潟連絡協議会

代 表…石畑 健一  
事務局…〒950-0017 新潟市東区新松崎2-11-33  
事務局長…荒木 隆  
電 話…090-1533-3278

### 笑いあり涙あり 魅力伝えた子供たちの熱演

平成25年度「県民たすけあい基金」の助成を受け、昨年11月30日に「ぶれジョブ新潟フォーラムIN長岡」を開催いたしました。フォーラムは、過去3回新



潟市で実施していましたが、昨年初めて会場を長岡市に移しての開催となりました。「ぶれジョブってなあに？」と題して行われた



フォーラムの大きな目的は、ぶれジョブが大切になくはないいけない本質的な部分と、これまで新潟で実践してきた活動を結びつけ、今後のぶれジョブ活動のさらなる発展に繋げるこ

### 〓人にもものを考えさせる働き〓

そしてぶれジョブ発案者である西先生の基調講演では、発案のきっかけとなった最重度のお子さんとの話を伺いました。

「ぶれジョブの本質のようなもの」私にぶれジョブをしたんです。働いたん

とでした。

当日のフォーラムは、ぶれジョブ・ひまわり（県央地区）による概要説明からスタートしました。手作り感満載の演出で、とても分かりやすく、冒頭から会場にいるみなさんを温かく包んでくれました。

続いては、ぶれジョブを続けてきた子ども達を中心とした演劇「ある日のぶれジョブ」です。誰がこまでの演技を期待したでしょうか？ 実話に基づいての熱演に会場は笑いあり涙あり、ぶれジョブの魅力にどんどん引き込まれていきました。

です。人にもものを考えさせる働き、お金を得るよりもっと大きい働きをするっていうことを、実感しました

ゆったりと温かく語りかける一言一言が心にしみわたりました。

ぶれジョブが大切にしていくもの、それは子ども達からいたたく、人にもものを考えさせる働き。ぶれジョブの活動をされている方は、誰もが経験があるのではないでしょうか。

フォーラムはその後パネルディスカッション、ピアノの生演奏によるぶれジョブの詩の朗読と続き、最後に子ども達全員がステージに上がり、フォーラムを締めくくってくれました。

今回のフォーラムを受けて長岡市川口地域、小千谷市、見附市と一緒に活動してくれる新しい仲間が中越地域にできました。

ぶれジョブは、一見地味で小さな日常の地域活動なのかもしれませんが、関わることでしか味わえない大きな魅力があります。ぜひみなさんもぶれジョブに参加して、〓人にもものを考えさせる働き〓を体感してみませんか。きっとその先には誰もが願う温かく優しい地域が待っているはずです。